

天竜川 ハンガレ沢

2017年9月3日(日) 晴

メンバー: 池田T(リーダー、記録)、佐藤Y、草田

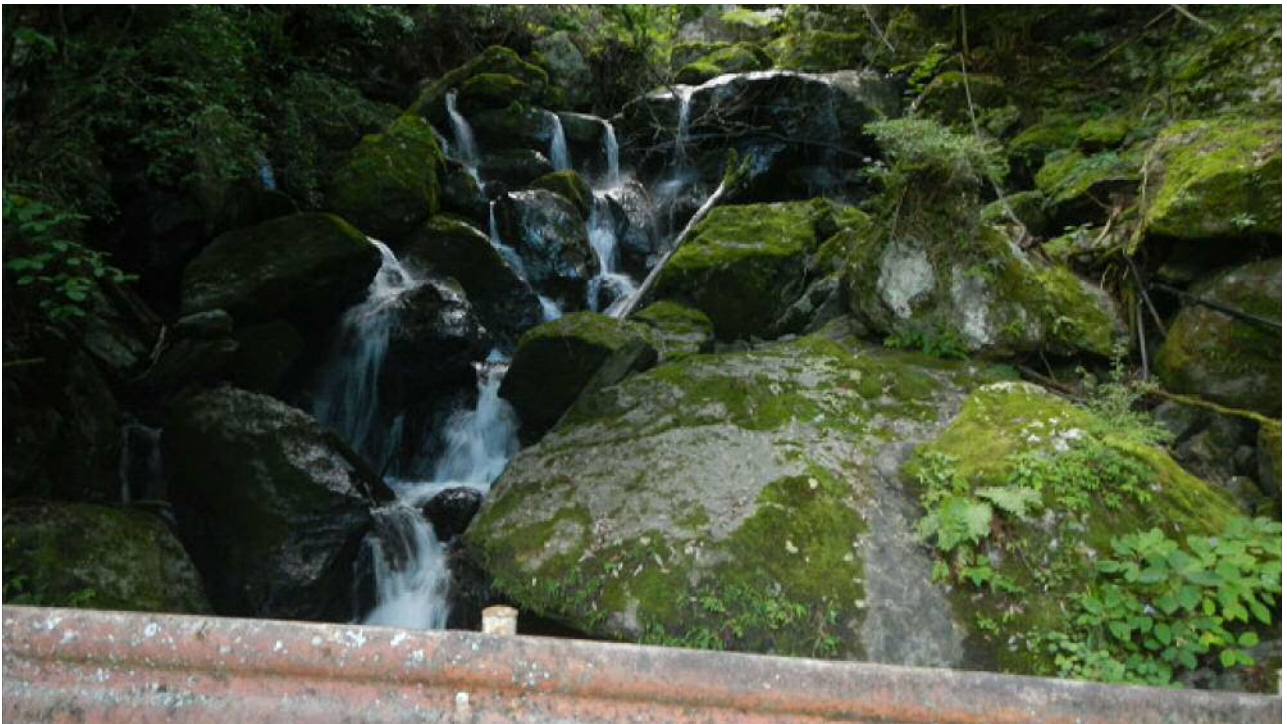
地元の沢、天竜川のハンガレ沢を遡行した。自分にとっては十数年ぶり。佐藤と草田は初めて入る沢だ。

前回は天竜川に合流する手前の橋から入渓したが堰堤が4つもあって面白くなかったので、今回は中流部の橋から入渓して堰堤をパス。後半部を遡行した。

途中にはゴルジュ帯があって中々楽しめる。短いが登り応えがある滝がいくつかあるのでクライミングの心得は必要。安全確保のために10mの補助ロープを数回使用した。

難しい所は高巻くことが可能ではあるが、高巻きが楽で安全とは限らない。

ヒルは見当たらなかった。被害も無し。



左岸から入渓した。橋の手前に3台ほどの駐車スペースあり。水量は並程度か。



入渓してまもなく出会う8m程度の滝。巻いたのはこの滝だけ。頑張れば行けたかもしれない。



ヌルヌルして滑り易い岩が多い。慎重に進む。



ここからゴルジュ帯が始まる。ここは泳ぐほどの水深ではなかった。



この後、水流の脇を登った。

ゴルジュ帯の中にはいくつか滝があるが、古いシュリングがぶら下がっている所もあった。草田は頼らずに登ってしまったが、自分は利用させてもらった。



水流と格闘する佐藤。



全般的に急な登りである。



ここも何とか突破した



水量はだんだん減って来た。



標高600mあたりで緩やかな流れになる。もう少し進むと作業道が横切る。



右岸の作業道を使って下山。標高500mあたりから沢を離れて山腹のトラバースになる。

<タイム> 中間部の橋7:00 – 遡行終了10:25 – 下山開始10:50 – 道路11:25 – 中間部の橋
11:35

以上